



▲「安全運転して下さい」と呼びかける園児



▲みんなで集合写真



交通安全のビラを配る園児▶



交通ルールを守りましょう。

春の交通安全キャンペーン 4月10日(木)

三加和温泉駐車場において、『和木町交通安全キャンペーン』が実施されました。これは、4月6日（日）から4月15日（火）の10日間にかけて全国一斉に開催される春の交通安全運動の一環として行われたものです。

当日は曇り空の中、交通安全協会の方々や神尾保育園の園児達がドライバーに「安全運転でおねがいします!」と呼びかけ、交通安全のビラを渡していました。園児達の元気で可愛い呼びかけに、ドライバーの方も笑顔で「気をつけて運転します、ありがとうございます!」と優しく答えていました。

和木町においては、平成19年度は交通事故が11件発生しています。悲惨な事故が起きないように、みんなで交通ルールを守り安全な社会を築いていきたいものですね。

人権の花セレモニー 4月18日(金)



菊水中央小学校において「人権の花セレモニー」が行なわれ、伝達式では、熊本地方法務局玉名支局長から小学6年生の代表3名（平野菜那さん、富永瑞生くん、池田史理子さん）にアサガオ、ひまわり等の種子が伝達され、「皆で協力しながら、しっかり栽培し、沢山の花を咲かせてください。」と話されました。

その花からできる種を多くの方に分けてあげようと、10月頃風船につけ空から届ける予定です。

これは、生徒達の思いやる心や優しい心を育み、人権尊重の精神が身につくことを目的に行われます。

今から夏にかけ花が育つのが楽しみです。たくさんの方が咲くことを願っています。

里地・里山再生プロジェクト

里づくり協議会なごみの里 4月12日(土)

ふれあいの森（平野）において、里づくり協議会なごみの里（会長：北原芳史氏）と熊本県立大学の学生、富士電機システムズ(株)社員による里山再生事業が行われました。この事業は、昨年より9回目の実施であり、里地・里山に再生することを目的に活動されています。

今回は計43人の参加者による、生い茂る草木の伐採や、菖蒲の花植え、どんぐり植えといった作業に汗を流していました。学生たちは、普段慣れないことに戸惑いながらも地元の方の指導のもと、一生懸命耕していました。



作業後には、婦人部の皆さんが作った豚汁やおにぎりを、みんなで美味しく食べていました。今後、菖蒲の花やどんぐりの木が育ち実をつけ里山に戻るのが楽しみです。

白石地区船着場お披露目式

菊池川、江田川の合流地点に船着き場と階段護岸完成 5月4日(日)

菊池川と江田川との合流地点に、カヌー乗り場などとして利用できる船着き場と長さ約150mの階段護岸が完成し、お披露目式が行われました。

国土交通省菊池川河川事務所が平成18年度から平成20年度にかけて整備を進めており今回のお披露目式は、平成19年度分の整備完了に伴うもので、ほかにも芝生広場、肥後民家村へ通じるバリアフリー坂路が完成しました。

お披露目式終了後は、完成を記念して先着30名まで無料のカヌー体験教室も行われ、多くの観光客で賑わいました。

この船着き場と階段護岸は、菊水カヌー館のカヌー発着場、和水川舟ペーロン大会の会場としても活用されます。



▲お披露目式でのテープカット

子供たちが主役の時代

貫通石の寄贈

このたび、九州新幹線建設局から九州新幹線新田原坂トンネル（最後のトンネル）の貫通石を菊水中学校及び三加和中学校へ寄贈されました。

この貫通石は、池上緑良氏（中十町）が九州新幹線建設局の方と「新幹線の時代が来、子供たちが主役の時代が来る。」と話をされるなかで、和水町の子供たちが新幹線に興味や関心を持って、社会の勉強として役立てて欲しいという思いで、寄贈をお願いされたものです。

2011年春の全線開業を目指し建設中の九州新幹線鹿児島ルート博多―新八代間のうち、植木町円台寺と熊本市太郎迫町を結ぶ新田原坂トンネル（全長2,940km）が2月14日に貫通し、これで同区間のトンネル15箇所全ての掘削工事が完了したものです。



▲三加和中学生徒会の皆さん

本市太郎迫町を結ぶ新田原坂トンネル（全長2,940km）が2月14日に貫通し、これで同区間のトンネル15箇所全ての掘削工事が完了したものです。

里山美術展

5月2日(金)～5月6日(火)

肥後民家村内で6回目となる「里山美術展」が里山楽縁企画（代表 池田道明）主催により開催されました。民家村内にある水車小屋では、土で作った可愛い置物の展示、篠笛工房「山彦」では笛の販売、陶芸工房「万世窯」では陶器作りの体験教室などがありました。またガラス工房「カリヒロ」では、手作りの色鮮やかなガラス細工がところ狭しと並べられていました。最終日には、テレビ・ラジオで活躍中の和菓子職人「片岡圭助氏」が来場するということもあり、職人が作る和菓子を一目見ようと町内外から多くの方が訪れていました。



▲体験教室での様子

吉村作治氏(エジプト考古学)来庁



平成20年4月25日

エジプト考古学者でお馴染みの吉村作治先生が、県指定史跡「トンカラリン」の現地調査のため和水町を訪れました。テレビ東京が制作する4月からの新番組「新説 日本ミステリー」（熊本での放送は現在未定）の中で「トンカラリン」の謎に迫り、番組独自の諸説を打ち立てる目的として調査に来られました。

吉村先生は「トンカラリン」を視察され、「エジプトのピラミッド遺跡と何か？通じるものがある」など、非常に関心が高く好印象を持たれました。

法務大臣から感謝状



池上 直美 さん（中十町）

人権擁護委員の池上直美さん（中十町）が今年3月末日をもって退任されました。

池上さんは、平成14年に人権擁護委員に就任して以来6年間にわたり人権思想の普及と高揚に力を尽くされ、この功績に対して法務大臣から感謝状が贈呈されました。

和水町に人権擁護委員さんは7名（菊水地区4人、三加和地区3人）おられ、日々人権普及を図るため活動されています。